

市議会議員

おのざわ康弘の

会派活動報告

ひげ通信



2014

No. 42

発行日 14-11(やまぶき会 小野澤康弘)

おのざわ康弘ホームページ
Tel.049(232)5789 Tel.049(231)4850 <http://onozawayasuhiro.com/>

定例市議会報告（9月議会）

9月27日に発生した御嶽山噴火災害でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆さまに謹んでお悔やみを申し上げます。また、被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

9月定例市議会が平成26年9月2日(火)に開会されました。当初の予定では会期は9月30日(火)までとされていましたが、会期が1日延長され10月1日(水)が最終日となりました。その間に提出議案すべてが可決され閉会いたしました。また翌日行われた川越地区消防組合議会もすべての議案が可決され閉会いたしました。

毎年の事ですが、この時期の市議会及び消防組合議会では、前年度(平成25年度)すでに執行された予算の決算の認定に伴う議案が提出されます。特に市議会では通常議案とは別に一般会計を含め決算認定議案10件の議案が提出され、各常任委員会では細部にわたり質疑が行われました。

また、この9月定例議会では最終日の10月1日に(前)江田肇議長及び(前)大泉一夫副議長より一身上の都合により辞職したいとの辞職願が提出された為、本議会で許可されました。それに伴い新たな議長、副議長の選挙が行われ、新議長に新井喜一議員(やまぶき会)が36

票中29票、新副議長に石川智明議員(プロジェクト21)が36票中24票という結果になりご当選されました事をご報告いたします。また、議長改選に伴い、議会運営委員会委員の変更もあり、新たにやまぶき会からは、小野澤康弘議員(3期)中原秀文議員(1期)吉野郁恵議員



(1期)が選出されました。私も平成23年5月、統一地方選挙を挟んで前後2期2年の間、議会運営委員会委員長を務めさせていただきました。更には平成24年度には議長まで務めさせていただきました。現役市議は、来年4月の統一地方選挙まで任期は半年あまりとなります。私も3年ぶりの議会運営委員ではありませんが、現職の文化教育常任委員長も含め精一杯働かせていただきます。 (関連3P)

人口減少社会に向けて

さて、我が国ではさまざまな視点から今後の日本の人口減少に対する対策をより一層強固に取り組みようとしています。9月の新聞記事などによりますと、2015年度政府予算に対する各省の概算要求は主に人口減対策と記載され、更に大きい見出しタイトルでは50年後にも日本の人口1億人を維持するため、要求が膨らむとありました。政府も人口減少に歯止めをかけるため、各省の主な政策が打ち出されておりました。今後は、国の施策に対して地方自治体はどのような受け止め方をするのか、又川越市としてどのように本市に合った計画や施策を考えていくのかなど、たいへん重い課題を整理してゆかねばなりません。又、一方現状では、本市でも問題が顕在化している、いわゆる空き家の問題等があります。空き家と言えども元々は生活の基盤である住まいであります。なぜ空き家として問題化していくか、空き家のメカニズムも含め、私の今回の一般質問では人口減少問題と空き家の関係や人の生活基盤である住まいについて住生活基本法の確認も含め市側に質問と考えを求めました。(関連3P)

主な議決案件

9月定例議会の主な議案

(9月2日～10月1日)

主な議決案件
利益の処分について (原案可決) 2件

決算認定について (一部反対、異議有り) (認定) 10件

町の区域について (原案可決) 1件

条例の制定について (反対討論) (原案可決) 4件

条例の一部改正について (原案可決) 3件

条例の廃止について (原案可決) 2件

財産の取得について (原案可決) 1件

道路線の認定について (原案可決) 1件

補正予算 (原案可決) 1件

平成二十五年 継続費精算報告書 (報告) 1件

平成二十五年 健全化判断比率報告書 (報告) 1件

平成二十五年 資金不足比率報告書 (報告) 1件

同意2号 公平委員会委員の選任 (同意) 1件

同意3号 固定資産評価審査委員の選任 1件

(退席有り) (同意)
意見第1号～第5号
人権擁護委員候補者の推薦につき意見 (適任)

許可第13号
川越市議会議長の辞職について (許可)

選挙第2号
川越市議会議長の選挙について (執行)

許可第14号
川越市議会副議長の辞職について (許可)

選挙第3号
川越市議会副議長の選挙について (執行)

3 常任委員会が現地視察
詳しくは議会だよりを参考に

9月19日、本会議で各常任委員会に付託された議案の審査を行う前に、総務財政、文化教育、産業建設、の3常任委員会では、来春に完成が予定されているウエスタ川越(西部ふれあい拠点)現地へ出向き視察を行いました。このことは今回選出されている議案や決算認定等でも関連があり行われたものです。



川越駅西口<ウエスタ川越>9/19

私の所属する文化教育常任委員会での関連議案

議案第108号

フルコンサートグランドピアノの取得について

取得の目的
川越市文化芸術振興、市民活動拠点施設に設置する

取得する財産の概要
フルコンサートグランドピアノ 2台
(スタンウェイ&サンズ ドイツハンブルグ工場製 D-274)

契約の方法
随意契約

取得の金額 40,717,987円
今回取得するこのグランドピアノは来春完成予定のウエスタ川越大ホールとリハーサル室へ配置される予定です。

新斎場建設事業に係る補正予算について

平成26年～平成28年にかかる継続費の補正

補正前 51億8930万円
補正後 56億9530万円
(補正額 5億 600万円)

※この事は平成26年6月5日の入札が不調に終わった結果により、市側が原因を調査及びヒアリングの結果により、今後の事業を推進するために実勢価格により近い単価等を採用し、実勢予算について見直す必要が生じました。このため建築工

事については建築物の躯体に係る工事費及び見積もりに係る工事費を見直すとともに、その他の付帯工事(設備工事、外構工事等)についても建築工事と同様に見積りに係る工事費を見直すなど、継続費で実施する全工事を対象として全予算額の精査をいたしました。その結果、継続費の予算内では、事業を推進することが困難となりますので、継続費を補正しようとするものです。

※ヒアリング結果

(1)鉄筋工、枠型工等の職人の不足等の影響で、元請と下請けの取引価格が高水準となっており、特に建物躯体に係る工事費の実勢価格は積算で使用する刊行物の単価と乖離している。

(2)積算において使用しているメーカー及び専門工事業者の見積りについては市が想定していた取引価格より高い水準になっている。

(市民部新斎場建設推進室 報告) 継続費補正に対する本会議での一部答弁

鉄筋価格 11.9%増、H構材 15.7%増、コンクリート 1.6%増 労務単価 23%増など入札の不調等に関連し公共工事積算基準などを含め答弁されておりました。

私の議会質問

行政の情報は市民の共有財産である

人口減少と高齢化が進み、我が国でも国家的な重要課題として、あらゆる政策を打出そうとしています。又、自治体や地域などでは人口減少によるコミュニティの低下に危惧し、こちらも様々な施策で対応する努力をしています。今後、増々顕在化する住宅の空き家対策や老朽化したマンションなどの問題があります。いずれにしても元々は人が住み家族単位として地域の核としてそれぞれ存在していた住宅がなぜ空き家となっていくのか？そこには空き家のメカニズムがあります。又、新しい住宅の建設と既存の住宅とのバランスなど住宅政策の動向についても大きく左右されます。本市についても平成25年4月より「川越市空き家等の適正管理に関する条例」が制定され施行されていますが、あくまでもこの条例は不適正に管理されている空き家等に対する事が主であり、今後、顕在化する空き家の問題には対策としてやや弱い感じがいたします。私は今回の一般質問のタイトルとして「住生活基本法と川越市の政策」を取り上げたわけですが、この法律は平成18年にはすでに法が施行されて

おり、その中で住生活基本計画の策定を県単位では義務付けを行いました。その中でも人口減少に対しては必要な課題と位置付けられており、更に空き家の問題についても施策の中で重要視されてきました。又、これは質問の中で明らかにりましたが、市町村にはこの住生活基本計画の策定義務は課せられておりませんが、中核市のほとんどがこの住生活基本計画を策定しておりました。前文でも申し上げましたが、人口減少、空き家のメカニズム、住宅政策、老朽マンション対策等、これらは一見個人や民間の問題として扱われがちですが、現在では大きな社会問題となっております。特に人口減少対策、地域社会の発展、良好なコミュニティの維持などは明らかに公共性が関係する問題であり、民間団体や民間企業も含め、行政支援の必要性が重要と考えられます。今回私は人口減少社会の問題を切り口として、人の生活の基盤である住生活について国はもとより自治体はどうあるべきか提起し、今後自治体にのしかかってくる課題を整理し、計画を考えていくのに何を基本とする事が大切かという事を問いました。また一部では高齢化や空き家の増加など住宅に関連する様々な課題や施策について研究を行い、人口減少社会の問題を考える上で、住生活基本計画策定の必要性を問う事を考え、一般質問を行いました。

質問骨子

住生活基本法と川越市の政策について
(一回目)

Q1. 市の人口、人口構造及び世帯について今後の見通しはどのようなものか。

Q2. 住生活基本法はどのような法律か。

Q3. この法律に基づく国の策定した住生活基本計画はどのような計画か。又その背景は何か。

Q4. 国で策定されている住生活基本計画において市町村にはどのような役割が期待されているのか。

Q5. 近年空き家の不適正管理に起因する問題が顕在化しているが、住生活基本法には空き家に関連する施策はあるか。

Q6. 政府各省の概算予算要求の中にも含まれているが、国は人口減少社会の克服に向けて都市機能集約など、まちづくりの施策としてコンパクトシティを推進しているが、本市ではどのように考えているか。

(二回目)

Q7. 今後、高齢者福祉においては高齢者の住まいについて、どのような対応が図られていくのかお伺いします。

Q8. 住宅やセーフティネットの点では公営住宅の果たす役割も大きいと考えますが市営住宅については今後どのようにしていくかと考えているか。

Q9. 国の住生活基本法の中には空き家に対するいくつかの施策があるようだが、空き家といつても元々はしっかりと住居を確保していた住宅である。そこで、空き家の活用に関して他市で行っている施策はどのようなものがあるか。

Q10. 住生活基本計画について自治体レベルの取り組み状況はどのようなものか。できれば埼玉県内及び中核市を対象に伺います。

(三回目)

Q11. 市長は昨年度の市政方針演説で人口減少社会に対する川越市の施策を展開していきたいと意気込みを語られております。私は経済論理で行うまちづくりは、行政の規制や誘導で一部は可能な部分があると思いますが、市長の言う「市民ひとりひとりが川越に住むことに誇りを持ち、住んで良かったと思えるまち」の実現を可能とするためにも、市民の生活基盤である住まいについては様々な分野の施策と連携しながら取り組んでいく必要があると考えますが、本市の今後の政策や計画の取り組みにあたり、現在まだこの計画がございません。私は川越市にも川越市らしい住生活基本計画が必要だと考えるが見解を伺います。

A (政策財政部長)

※一部抜粋

住生活基本計画に対する考え方について、ご答弁申し上げます。住まいに関連する様々な問題の解決を図る上で市の役割は重要であると認識しているところでございます。他の施策分野との連携を図りながら、住生活にかかわる様々な主体と連携し、協力しながら総合的かつ計画的に、住宅政策を推進していくためには、住生活基本法はたいへん意義があるものと考えております。こうしたことから、現在進めております次期総合計画の検討の中で住生活基本計画に関する考え方を整理してまいります。

施設名称	利用人数	指定管理者
川越市民聖苑やすらぎのさと	171,109	(公財)川越市施設管理公社
川越市市民会館やまぶき会館	228,549	
川越西文化会館(メルト)	106,742	
川越南文化会館(ジョイフル)	93,151	
川越運動公園陸上競技場	65,379	
川越運動公園総合体育館	129,534	
川越運動公園テニスコート	60,185	
川越武道館	38,487	(公社)川越市シルバー人材センター
川越市総合福祉センター(オアシス)	132,358	(社福)川越市社会福祉協議会
川越市老人福祉センター東後楽会館	56,589	
川越市老人福祉センター西後楽会館	64,382	
川越市産業観光館(小江戸蔵里)	395,283	(株)まちづくり川越
なぐわし公園ピコア(PiKOA)	411,885	なぐわし公園PFI(株)
川越市北部地域ふれあいセンター	50,657	NPO法人北部地域ふれあいセンター運営協議会
川越市東部地域ふれあいセンター	35,947	NPO法人東部地域ふれあいセンター運営協議会
川越駅西口第一自転車駐車場	57,352	(公社)川越市シルバー人材センター
川越駅西口第二自転車駐車場	86,110	
川越駅東口自転車駐車場	109,372	
本川越駅前自転車駐車場	27,140	

川越市政の
ココに注目!

日頃市民の方々が利用されている特定の公共施設については、川越市により指定された指定管理者により管理されております。

平成25年度の指定管理者による公の施設の管理状況が公表されましたのでご報告いたします。

(政策財政部行政改革推進課)
※記載上一部抜粋しています。

ゲーム性が高い頭脳ゲームで、ゲートボールが若い人に人気です!
(全国ジュニア大会も開催されています。)



グランドゴルフがさかんです!
(地域グランドゴルフ大会にて)



マレットゴルフ人口が急増しています!
(第24回マレットゴルフ関東選手権川越大会)



上戸小学校運動会! 来年は1年生(10/4)
(未就学児童がかけっこでがんばりました)

スポーツコミュニティで体力増進!

平成27年度
やまぶき会会派要望書提出
平成26年9月29日迎賓室にて
川合市長、副市長、担当部長同席のもと、やまぶき会11名による平成27年度会派要望書を提出いたしました。



平成26年9月29日

おのざわ康弘 プロファイル

昭和二十九年三月十三日
現職
川越市議会議員
三期



- 所属会派 「やまぶき会」
- 幹事長 文化教育常任委員会
- 委員 議会運営委員会
- 委員 川越地区消防組合議会
- 委員 環境審議会
- 委員 ながわし公園建設委員会